



(財)鳥取県労福協 第261号

# まほうのいえ

題字 柴山抱海書



## 第5回 西部労福協まつり



第261号 もくじ

新年ご挨拶	2
事業団体からのお知らせ①・活動報告	4
第45回労働者スポーツ祭典結果報告	5
非正規労働者セミナー開催報告	5
2008年度鳥取県に対する制度・政策要請	6
事業団体からのお知らせ②	6
第19回囲碁・将棋大会開催案内	7
第30回福祉カンパ活動	7
LSCとっとりからのお知らせ	7
最低賃金	7
第55回勤労者美術展	8



西部労福協まつり会場 (米子産業体育館)



2009年

# 新年ご挨拶

財団法人鳥取県労働者福祉協議会

理事長 安田 邦夫



新年あけましておめでとうございます。皆様にとつて、2009年が佳き年となりますことを心からご祈念申し上げます。

昨年来、アメリカの経済危機が世界経済を直撃し、日本経済も景気回復から後退へと局面を転じ、その影響は庶民生活へも大きく波及しています。

私たちには無縁の巨額の投資マネーの思惑で動く世界経済。しかし、その煽りによって、庶民生活が右往左往させられる現実。何ともやりきれない思いとともに、市場経済の制限の無い競争や過熱するマネーゲームに、社会の様々な安全装置が壊れ、働く者の生活は、何を頼りにすればよいのか不確実な時代が続いています。

そうした時代にあつて、労働運動や労働者福祉運動が、社会の安全・安心の装置として如何に機能して行くのかが問われている時代でもあります。

鳥取県労協も、働く仲間の皆さんや地域社会のニーズを掘り起こし、その要請にどう向き合うのかを常に検証しつつ、活動を進めて行きたいと考えます。

そして、実践を通じて地域の皆さんや職場の皆さんへの認知度も高めつつ、労働者福祉の向上をめざして今年も頑張りたいと思います。

日本労働組合総連合会鳥取県連合会

会長 磯江 智昭



新年あけましておめでとうございます。昨年からの日本の政治・経済は混迷を続けており、先行きの見えない不安な情勢が続いている中で、サブプライムローン問題に端を発した米国の金融危機は、実体経済に影響を及ぼし、日本経済も外需が減少し、内需も原材料価格の高止まりや家計改善の遅れから低迷を続けています。

こうした状況下で、雇用情勢も厳しさを増しつつあります。とりわけ深刻なのが非正規労働者の雇用問題です。中でも派遣労働者の契約打ち切り、有期契約労働者の雇止めなどが頻発しており、数千万人単位での派遣契約の打ち切りが報道されており、鳥取県内に於いても非正規労働者を対象とした契約打ち切りなど3万人近い数が報じられています。

一方、鳥取県内に於いても、多くの働く者は悩みを持っており、労働相談窓口・電話などで相談をしています。

昨年の労働相談件数は、「労働局が9700件・みなくるが20000件・県労働委員会が70件・連合が40件」であり、相談件数は毎年増えつつあります。

こうした働く者の相談に対応するため、「労福協・連合・労金・全労済」で、一昨年の10月に「ライフサポートセンター」を立ち上げ、その後、労福協が中心となって、県内の働く者の悩み・相談をFAXとメール、そして弁護士による相談も受け、相談者の問題解決に向けた対応をしています。

連合鳥取も今年度中に非正規労働センターの立ち上げをして、多くの非正規労働者の窓口として開設し対応して行くこととしています。

いずれにしても、今後も県内で働く者のために労福協も連合も「ナショナルセンター」としての任務・役割を果たして行かなければならないと思っています。

今年も労福協の取り組みが増えてくると思いますが、「勤労者の福祉向上のため」そして、「安全・安心・公正な社会」をめざし、連合鳥取も労福協と共に運動を進めて行きます。

今年も、労福協のさらなるご発展とご活躍を祈念し、新年のごあいさつと致します。

中国労働金庫鳥取県営業本部

本部長 安長 章



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、会員・組合員の皆様には、格別のご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱は未曾有の金融危機を招き、世界同時不況の状況に襲われ、輸出関連企業を柱とする日本経済の先行きに大きな影を落とすこととなりました。

中国労働金庫は、勤労者の福祉金融機関として、これらの背景も踏まえながら五周年キャンペーンと併せて組合員とご家族の生活応援運動を積極的に進めてまいります。

本年も格別のご理解・ご支援・ご協力を頂きますとともに、皆様と御家族のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

全労済鳥取県本部

本部長 小東 昭久



明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族おそろいでお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、力強いご支援とご協力を賜りました。役員一同、心から感謝を申し上げます。

さて、最近の情勢は、サブプライムローン問題に端を発した、アメリカ発



「金融危機」が世界中に拡大し、日本においても、大和生命の破綻や、各企業の統廃合が進むとしています。

また、予想を上回る少子化および世界に例を見ない速度で進行する超高齢社会の到来は、社会保障制度にも大きな影響をもたらすし、将来への不安や閉塞感が勤労者・生活者を取り巻いています。

生活に対する不安が払拭されない今こそ、利潤ではなく、いかにして助け合いの果実を実らせるかに運動の力点を置く共済事業が、ますます力を発揮しなければ成らないと考えています。

事業を通して全労済らしい社会的責任を果たし、組合員の皆様から信頼され選ばれる県本部となるために、役員一同、全力をあげて取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

鳥取県生活協同組合

理事長 松軒 浩史



新年明けましておめでとございます。昨年は改正・施行された生協法に基づき、組合員や社会の信頼と

期待に応える生協をめざし、様々な改善改革をすすめてきました。昨春秋に開催しました県内各市町村の首長さんとの懇談会では、高齢化の進行や益々買物が不便になる中、生協の荷受ステーションや宅配システムには大きな期待が寄せられ、いまこそ生協の出番として力を発揮しなければ存在価値が問われると痛感いたしました。一方では食品被害や偽装等に生協も関わるこ

となり、皆様には多大なご心配・ご迷惑をおかけしました。「安全・安心」が担保出来るよう改善を図っていく決意です。本年も労福協のご発展と、より良い年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

鳥取医療生活協同組合

組合長 山上 英明



昨年、鳥取医療生協のセンター病院である、生協病院が新築移転しました。「安心して療養したい」という組合員、住民の皆さんの願いに応える施設整備ができました。今後はこの施設を有効活用し、安心・安全の医療サービス提供に努めてまいります。

さて、医療や介護の現場は「医療崩壊」「介護難民」と報道されるように患者・利用者を守れない事態が進行しています。深刻な医師・看護師不足、社会保障費の連続的切下げなど、公的病院も含め、困難が増しています。患者、利用者も医療保険の窓口負担増、後期高齢者医療制度など「かかりにくさ」が広がっています。今、憲法で保障された「いのちの平等」を守る声を上げるときだと思えます。

鳥取県労福協東部支部

支部長 河村 正之



新年、明けましておめでとございます。本年も皆様方の活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

急激な経済の減速に伴い、勤労者を取り巻く環境は、雇用問題など非常に深刻な事態となっております。

この様な環境であるからこそ、我々が推進する労働者福祉活動が重要となる事は当然であります。今まで以上に活動範囲、対象範囲を拡大し、多くの人々との繋がりを広げて行く必要があると考えております。

組織などを越えた人の繋がりが助け合いの輪を更に広げ、心の拠り所となる様な活動を推進して参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

鳥取県労福協中部支部

支部長 橋本 将司



新年明けましておめでとございます。皆様方にはご健勝で新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は労福協中部支部の活動につきまして、格別のご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。現状の取り巻く環境につきましまして、世界的な景気後退による世界同時不況の状況は極めて深刻なものとなっております。このような環境の中では、より私たち労働者福祉活動は重要性を増していきます。

一方で昨年の活動を振り返りますと、各行事への参加者の固定化が見られ、私たちの活動のPRが不足し認知度が低いと認識しています。今年には更に活動の輪を広げながら、皆様の笑顔で溢れる活動ができるよう努めますので、旧年にも増して暖かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2009年が、皆様にとって輝かしい年になることをお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

鳥取県労福協西部支部

支部長 八幡 勇治



謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年の第三十二回通常総会で支部長に就任して以来、労働者スポーツ祭典や行政への要請行動、年末の街頭福祉カンパ等々、精力的に取り組むことが出来ました。これもひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と心より感謝しております、本当に有難うございました。

さて、長引く景気低迷の影響を受けて賃金カットや合理化攻撃は激しさを増し、勤労者の生活環境はこれ以上一歩も後に下がれない状況にまで陥っています。本年は、これまでの活動で得た経験と教訓を基にして、勤労者一人一人が主役となる新たな労福協活動を構築する考えであります。実現に向けては、支部役員は固より、皆様方のご協力無くしては成し得ませんので、引き続き宜しくお願い致します。皆様にとりまして本年が、明るく希望に満ちた年となりますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



**育児休業中 介護休業中** の生活を支援します！

**育児休業・介護休業支援制度**



**ろうきんローンをご利用中の方**

ご本人もしくは配偶者が育児休業・介護休業制度の休業期間中に、ご返済中のローンの元金据置制度を利用する場合

**対象のローン**

(社)日本労働者信用基金協会保証の証書貸付  
※負債整理ローンを除きます。※マイプラン・AVO等は、当座貸越となりますので対象外です。

**元金据置期間**

休業期間中または育児・介護休業法に定める休業期間(育児休業期間は最長1年6ヵ月、介護休業期間は最長3ヵ月)のいずれか短い期間とし、貸出期間の通算が各商品の最長貸出期間を超えない範囲とします。

※適用金利は、現在ご利用中のローンの金利とします。

**ろうきんローンを新規でご利用の方**

ご本人もしくは配偶者が育児休業・介護休業制度の休業期間中に、ローンの新規利用(元金据置)する場合

**対象のローン**

カーライフローン・無担保住宅ローン  
・無担保多目的ローン  
※教育ローンには、商品制度に元金据置の扱いを設けております。

**返済期間**

各商品に定める貸出期間とします。元金据置期間は、休業期間中または育児・介護休業法に定める休業期間(育児休業期間は最長1年6ヵ月、介護休業期間は最長3ヵ月)のいずれか短い期間とします。

※適用金利は、各貸出商品の金利とします。

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

**開催報告!**

**保障設計運動の展開強化と、こくみん共済新タイプの推進など**

～労福協全労済部会 団体代表者会議～



東部地区  
開催の様子



2008年12月16日～18日にかけて、労福協全労済部会団体代表者会議を各地区(西部、中部、東部)で開催しました。全地区で約60名の参加をいただき、上期活動内容、事業状況の報告による現状の認識と、下期活動補強策を軸とした事業推進展開について確認いただきました。

**主な議題は以下の通りです。**

全労済鳥取県本部2008年度10月末実績について  
理事・監事団体における2008年度取組み課題設定による推進状況について  
全労済鳥取県本部2008年度上期活動報告・下期活動補強策(案)について  
こくみん共済制度改定について(2009年1月第1期実施内容)

2008年12月16日(火)	西部地区	23名参加
2008年12月17日(水)	中部地区	12名参加
2008年12月18日(木)	東部地区	26名参加

**医療生協活動報告**

**11月25日 新型インフルエンザについて生協病院で学習会を開きました。**

東部総合福祉保険局 長井所長を講師にお願いしました。発生はいつ!という段階の情報がある中で、他院所からも多数の参加がありました。

鳥インフルエンザと新型インフルエンザの関係、過去の世界的大流行の教訓を元に、事前の準備と早期対応が重要であることが話されました。初発事例に適切な対応ができなければ、首都圏で国内発生事例があれば1～2週間で鳥取県に入り、4～5週間で患者発生のピークとなることが考えられるそうです。

鳥取県の対策として、大規模流行対策と、抗インフルエンザ薬の備蓄について準備が進んでいること・ワクチンのこと・情報の収集と提供が大切になっていることが説明されました。

外出自粛・患者の隔離・とりわけ咳エチケット・マスクとうがいを医療機関が率先して広めていくことが大切となっています。

感染予防の切り札はなく、発生すれば多数の患者が受診することが予想されますがスペインかぜ(1918年)アジアかぜ(1957年)香港かぜ(1967年)を経験し、衛生状況は向上し、抗インフルエンザ薬等の対策がある中です。

正確な情報提供と対策をとり、パニックにならないように、行政と共に、組合員さんや地域の方がたに知らせる機会を作っていかなければと思いました。



# 第45回 鳥取県労働者スポーツ祭典 結果報告



今年度のスポーツ祭典は、東部地区（鳥取市中心）に於いて開催しました。地区予選・県大会総勢1,400名7種目の競技に挑みました。小雨の降中ではありましたが、選手の皆さん、世話役の方々ありがとうございました。

日 時 2008年10月5日(日) 総合開会式9時  
会 場 鳥取産業体育館・コカ・コーラウエストスポーツパーク  
倉田スポーツ広場・白兔グラウンドゴルフ場・鳥取スターボウル

種 目	優 勝	最優秀選手賞
軟 式 野 球	米 子 機 工 野 球 部	中 口 一 弥 (米子機工野球部)
ソ フ ト ボ ー ル	日 圧 ス ー パ ー テ ク ノ ロ ジ ー ズ 労 組	山 本 多 恵 子 (日圧労組)
バ ド ミ ン ト ン	日 圧 ス ー パ ー テ ク ノ ロ ジ ー ズ 労 組	渡 邊 麻 衣 子 (日圧労組)
バ レ ー ボ ー ル 男 子	鳥 取 市 役 所 職 員 労 組	太 田 信 一 (鳥取市役所職員労組)
バ レ ー ボ ー ル 女 子	県 職 連 合 東 部 支 部	田 中 幸 世 (県職連合東部支部)
卓 球	王 子 製 紙 新 労 組 米 子 支 部 A	斉 藤 清 志 (王子製紙新労組)
グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ	三 洋 エ ナ ジ ー 鳥 取 労 組	吉 岐 哲 彦 (東部環境管理公社)
ボ ウ リ ン グ	水 野 商 事	寺 西 覚 (水野商事)
		山 田 速 香 (私鉄日ノ丸米子分会)



ソフトボール試合風景



バレーボール会場



グラウンドゴルフ



ボウリング

## 「非正規労働者セミナー」を開催しました!



【鳥取会場の様子】  
11/9 (日) 鳥取県労働会館



労働者の方や求職活動中の方を対象にした『非正規労働者セミナー』を開催しました。  
内容はみなくるに寄せられるよくあるトラブル事例をもとに、労働契約の重要性を重点的に学習しました。参加者からは「知らないことばかりで参考になった」とか「非正規労働者も労働法で守られていることがわかった」など、多数のご意見をうかがうことができました。また、「労働

みなくるでは、11月、鳥取・米子の2会場です。パート・アルバイト・派遣などの非正規



【米子会場の様子】  
11/16(日)米子コンベンションセンター



者は弱い立場に置かれている。権利を守るために自分たちはどうしたらいいのか。」など悩みを抱える参加者の切実な声もいたただくことができました。  
これらの貴重なご意見を今後のみなくるの活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

仕事の中での悩み・ご相談は **みなくる** へ  
相談電話 0120-451-783  
相談メールアドレス minakuru@roufuku.jp

# 2008年度 労働者福祉の充実に関する要請書

## 2008年度政策要請

1、労働者福祉事業の育成・支援強化について  
 地域社会の健全良質な労働雇用環境と、安心安全の生活環境づくりをめざす労働者福祉事業の促進にあたり、(財)鳥取県労働者福祉協議会が行なう、研修、調査研究、広報活動、文化・スポーツ交流事業などに対して、必要な連携と支援助成を継続されたい。

2、地域勤労者の労働・雇用環境の整備・充実について

(1) 県内の就労環境は、有効求人倍率の長期低迷や、若者の就業場所を求めての県外流出など依然厳しい環境にあります。良質な雇用創出は、健全な地域社会の形成と安心できる生活のための必須の条件です。

(2) 県内の中小地場企業における労使関係について、労使間のトラブルを未然に防ぐとともに、個別企業・労働者が直面する労働・雇用問題への助言機能や、労働法制を遵守する労務管理を推進・定着させるために、鳥取県中小企業労働相談所(通称「みなくる」)の機能の充実に向けた諸施策を引き続き強化・推進されたい。

(3) 勤労者サービスセンターの存続について

鳥取市および米子市に設立している「中小企業勤労者福祉サービスセンター事業」については、2011年度に国の補助金の打ち切りが予定されていることから、両センターの運営にも影響が生じることが懸念されます。

大企業との格差が生じがちな県内地場企業の企業内福祉を補完する諸施策を、一層推進するために、同センターの全県エリア一本化と維持継続のための具体的対応策について、関係機関との連携のもとに県行政として必要な対応策を図られたい。

3、勤労者の生活課題の改善について  
 (1) 消費者金融の多重債務問題への対応について

消費者金融等の多重債務問題は、不安定・低賃金就労の拡がりという今日的雇用状況にも起因する社会問題でもあり、2006年末の改正貸金業法の成立などにより、多重債務問題への取り組みが地方行政面でも進みつつあります。

行政の立場から、関係機関による対策本部の取り組み強化、悪質なヤミ金業者の取締りや身近な相談体制、行政関係部署の連携強化による早期発見体制、相談員の専門性(課題解決)の向上、生活資金等に関する貸付融資制度の広報周知など、消費者金融による多重債務者の被害救済と生活再建を支える対策を一体的に強化されたい。

高校生に対する社会人前(消費者)教育など、クレサラ被害の未然防止に向けた取り組みを強化されたい。

(2) 生活保護行政の適正運用の促進  
 総ての国民が健康で文化的な生活を営むための最後のセーフティネットである生活保護制度について、国の生活保護基準切り下げの動きに反対し、窓口で申請自体を抑制する所謂「水際作戦」等が生じないよう指導を徹底するとともに、ケースワーカー体制の強化などによる生活保護世帯の就業自立を支援する体制を充実されたい。

(3) 家計収入による教育格差の是正  
 家計収入によって子供の教育環境に格差が生じる現状が憂慮されています。家庭の経済的事情による子どもの教育格差を軽減するために、育英奨学金制度、授業料減免措置、通学費援助など、経済的な就学支援策について充実されたい。

(4) 子育て支援施策の強化について  
 企業における育児休業制度の利用促進や、地域における子育て支援施策など、勤労者家庭の「子育て」支援施策を

地域社会全体の課題として積極的に推進することが必要です。

子育て世帯の経済的支援にあたり、「育児休業・介護休業支援制度」や「育児支援ローン」など、行政提携の各種支援制度について広報・周知を促進されたい。

(5) 後期高齢者医療制度の撤廃  
 高齢者の医療負担の増加や医療の世代間格差をつくる後期高齢者医療制度については撤廃し、公平負担と持続可能な医療制度となるよう国に働きかけられたい。

(6) 消費者行政の充実と「食の安全」確保について  
 近年、「食」の安全を脅かす事件が相次いでおり、消費者の安全を守ることを第一義とする地方行政が求められています。

食の安全に関わる行政規制や、事件発生時に即応する体制の確立などについて、行政縦割りの弊害を無くし、消費者行政部門が関係行政部門に対しても一元的、統括的にリーダーシップが発揮できる機能強化や、現場力の強化など体制強化を図られたい。

また、住民に身近な市町村相談窓口の充実に向けて、県の支援、指導を強化されたい。

毎年定められる食品衛生監視指導計画(主に食中毒防止など)にとどまらず、事件、事故への対応を含めた施策の策定や、計画的な食の安全確保について、県条例の制定も含めた総合的な施策を充実されたい。

また、施策の実施にあたっては、行政、事業者の立場のみならず、消費者の立場からの意見が反映されるよう取り組みを強化されたい。

次代を担う子供たちが、食の自給率の向上や、産地の顔が見え、大切さを実感できる食について考える力を育てることが重要です。

## 家族の健康と暮らしの安全を願う『あなた』!



**鳥取県生活協同組合**

がお手伝いします!



生協では、組合員の願いから生まれたオリジナル商品や、生産者と生協が直接手を結び、「安全・安心・おいしい」商品づくりを追求した産直商品の他、境港で獲れた紅ずわいと鳥取県産の牛乳を使ったグラタン等、地元の食材を使ったオリジナル商品等も取り扱っています。インターネットでは、商品の原材料やアレルギー、主な原料の産地や加工地などの情報もご確認いただけます。

◎詳しくはHPもご覧ください。<http://www.tottori.coop>

お忙しい方は、インターネットでご注文いただけます!

(商品配達日の26時まで)

ご利用は、お一人でもO.K!

お問い合わせは **事業運営部**

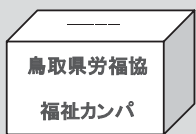
TEL 0858-58-6100 まで

# 鳥取県労福協 第19回囲碁将棋大会 開催のお知らせ

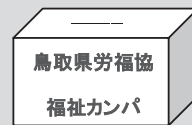
- 開催日時 ● 2009年2月15日(日) 受付10時 開会10時20分
- 開催場所 ○ まなびタウンとうはく 東伯郡徳万266-5(浦安駅東隣)
- 参加資格 ● 東部・中部・西部の各地区予選を勝ち抜いたチーム
- 参加料 ○ 無料
- 申込締切 ● 2009年2月6日(金)
- 地区大会(予選)開催日・会場 ○  
 東部 1月25日(日) ホープスターとっとり 中部 1月25日(日) まなびタウンとうはく  
 西部 2月1日(日) 弓ヶ浜荘



お問合せ  
 鳥取県労福協事務局  
 電話 0857-27-4188  
 メールアドレス tottori@roufuku.jp  
 ホームページ http://tottori.roufuku.net/



## 第30回福祉カンパ活動



= 只今、実施期間中です! =

鳥取県労福協では、毎年職場や街頭でカンパ活動を行っています。カンパいただいた支援金で、『子どもにかかわる福祉施設・小規模作業所等の支援』・『交通事故から子どもを守る活動に対する支援』を行います。

みなさまのご理解ご協力をお願い致します。

【職域カンパ実施期間】2008年12月10日(水)~2009年1月30日(金)

【街頭カンパ実施日】東部支部12月20日(土) 中部支部12月20日(土) 西部支部12月13日(土)



# 生活の中での悩みごとはありませんか。ライフサポートセンターとっとり

保険・共済	金融	食の安全	福祉・介護	労働	メンタルヘルス	子育て	法律
-------	----	------	-------	----	---------	-----	----

### ご相談は

メールかFAXで受け付けています。  
 Eメール: soudan5454@shore.ocn.ne.jp  
 F A X:(0857)32-5454

### 法律相談は

毎月2回(水)無料法律相談会を実施しています。  
 (都合により変更することもあります。)  
 詳しくは、お問合せください。

### 携帯電話用QRコード



★ ライフサポートセンターとっとりブログ [http://blogs.yahoo.co.jp/tottori\\_roufuku](http://blogs.yahoo.co.jp/tottori_roufuku)

## 鳥取県最低賃金

1時間: 629円 発効年月日: 平成20年10月26日

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室(0857-29-1705)  
 又は最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。



# 第55回

# 鳥 取 県 勤 労 者 美 術 展


2008年12月11日（木）に米子市美術館にて審査会を行い、入賞作品が決定いたしました。表彰式は、会期初日の12月14日（日）に行い多くの入賞者とともに賑やかな開幕となりました。

## 1. 鳥取県知事賞、鳥取県労働者福祉協議会理事長賞の入賞者

### 鳥取県知事賞

書道部門

「梁元帝詩」  
りよのげんていし  
かねだ ほうしゅう  
金田 芳州 様（伯耆町）



写真部門



「芽吹く頃」  
めぶ ころ  
こなだ じゅんいち  
小谷 準一 様  
（鳥取市）

洋画部門



「荒れる日本海」  
あ にはんかい  
つだ きようこ  
津田 恭子 様  
（鳥取市）

日本画部門



「盛夏」  
せい か  
あしば あつこ  
足羽 厚子 様  
（鳥取市）

### 鳥取県労働者福祉協議会理事長賞

写真部門



「bike・青春」  
せいしゅん  
はまだ みきや  
浜田 幹也 様  
（境港市）

洋画部門




「秋陽 - 合掌造り」  
しゅうよう がっしょうづく  
さじま せい  
佐島 征 様  
（境港市）

日本画部門



「秋桜」  
こずもす  
やまね やえみ  
山根 八恵美 様  
（鳥取市）

書道部門



「木枯の風」  
こがらし かぜ  
はしもと やすこ  
橋本 綏子 様  
（鳥取市）

## 2. 後援団体賞の入賞者 : 表彰式 2008年12月14日(日)

中国労働金庫鳥取県営業本部本部長賞				鳥取県商工会議所連合会賞			
写 真	仲よしジャンプ	竹歳 雅秀 様	北栄町	写 真	メロデー	後藤 栄 様	伯耆町
写 真	肖像	佐藤 寛治 様	米子市	写 真	銀麗の舞	池上 憲文 様	倉吉市
洋 画	海へ来ました	谷口 正幸 様	八頭町	洋 画	タクラマカン砂漠	中村 雅美 様	鳥取市
日本画	水遊び	野口 昭子 様	伯耆町	洋 画	牛骨のある静物	田邊美喜恵 様	倉吉市
全労済鳥取県本部理事長賞				鳥取県商工会連合会会長賞			
写 真	秋彩	河本 正美 様	湯梨浜町	写 真	憧れ	細田 京香 様	伯耆町
写 真	四万十川 朝景	岩田 昭夫 様	鳥取市	洋 画	巴里の3月	村島 千文 様	倉吉市
洋 画	思い出の空間	岡本 紀枝 様	鳥取市	洋 画	繕い	山下 夏江 様	鳥取市
日本画	波しぶき	横畑 昌子 様	米子市	日本画	睡蓮	石賀 菊江 様	琴浦町
鳥取県経営者協会会長賞				鳥取県中小企業団体中央会賞			
写 真	疾走	竹歳 育世 様	北栄町	写 真	もの想い	安田 敦 様	鳥取市
写 真	待つ	大田 和夫 様	米子市	洋 画	M老人	山崎 旭高 様	湯梨浜町
洋 画	名は赤岩	細田 利彦 様	伯耆町	洋 画	実りの秋	渡辺 厚子 様	米子市
洋 画	昭和南埠頭23:00	浜野 洋一 様	米子市	日本画	藤波	谷口亀久枝 様	八頭町

発行日二〇〇九年一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五 (財)鳥取県労働者福祉協議会 第261号 TEL(〇八五七)二七四一八八  
 発行責任者 安田邦夫 編集責任者 小泉俊一 編集委員 澤田陽子・森田泰彰・下田恵美子・岡本藍子・谷口美紀